

「八王子市教員研究生成果報告書」に寄せて

東京学芸大学教職大学院

特任教授 伊東 哲

八王子市教育委員会教育委員の伊東哲でございます。先生方におかれましては、日頃より八王子市立小・中学校・義務教育学校の児童・生徒の教育活動に真摯お取り組みいただき、心より御礼申し上げます。令和7年度の八王子市教員研究生による成果報告書の発刊に際し、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

八王子市教育研究所の教員研究生事業も令和7年度で3年目となりました。今年度については、小学校では、国語、算数、体育、中学校では、社会、数学、技術（STEAM教育）の6つの教科等について、6人の先生方が研究生として応募され、約10ヶ月にわたる研究実践を行っていただき、この度、その成果を報告書としてまとめることができました。

八王子市教育研究所の教員研究生事業については、研究生1名に対して、大学教員及び東京都教職員研修センター教授がそれぞれ1名で指導・助言を行い、約10か月間の中で研究生が希望する教科等に関するテーマを追究していく探究型の研修を行っています。具体的な研究内容や研究方法については、本研究成果報告書をご覧いただければと存じますが、共通していることは、各研究生が日頃から改善したいと考えている教科等に関する課題を選び、その課題の背景にある問題の所在について検討し、その課題の解決を図るための仮説を設定するとともに、仮説を検証するための授業を行っていくという手法です。この一連のプロセスの中で、研究生は過去にも同様の研究があったかどうかについての先行研究を行っていくわけですが、こうした非日常的な探究的活動が重要な学びとなると考えます。そして、過去に行われた研究と、これから自分が行っていくとする研究の共通点や相違点を探り、その比較・検討の研究活動を通して自分なりの解決策を見出し、検証するといったプロセスこそが探究的な学びの醍醐味と言えると思います。

本教員研究生事業では、担当の指導教員だけでなく、八王子市教育委員会の指導主事の先生方が一人一人の研究生に懇切丁寧に寄り添い、研究生と指導教員との仲介をしていただき、研究活動を支援していただいております。そして、その成果を本市立学校における教育活動に還元することができるよう、全力で事業運営に取り組んでいただいております。

各先生方におかれましては、本教員研究生事業の趣旨や内容等についてご理解をいただき、次年度においても奮ってご参加いただければ幸いです。そして、新たな教師の学びの姿を実現できるよう、共に学びを深めていければと存じます。先生方の益々のご活躍を祈念して私からのご挨拶とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。